

中心市街地のポテンシャルと課題

ポテンシャル

- ・ 中心市街地に対する期待と居住ニーズは一定程度ある。
- ・ リノベーションまちづくりをはじめとする草の根のまちづくりの動きが芽生え始めている。
- ・ 個店が連なるヒューマンスケールな街並みが広がっており、歩いて楽しいまちへと変革できる可能性がある。
- ・ まちの中央に袋川という自然資源が位置しており、様々な場所から臨める久松山はまちのシンボルとなっている。
- ・ 鳥取駅周辺では大規模な再整備が計画され、鳥取城跡周辺では保存整備が進むこの機会を捉えることが重要である。
- ・ まちを想い、行動するプレイヤーが今も存在する。



課題

- ・子育て世代をはじめとする若年層が暮らしたい、過ごしたいと思える環境を整える必要がある。
- ・居住ニーズや出店ニーズを受け止める不動産の流動化が求められている。
- ・老朽化が進行する建物の更新、遊休不動産の活用が求められる。
- ・回遊性向上のためには、分断されている界隈間の接続性を強化することが求められる。
- ・面的に広い市街地の回遊を促進する更なる交通手段の充実が望まれる。
- ・鳥取砂丘等へ訪れた観光客をまちなかに誘引することが望まれる。
- ・パブリックスペースの更なる有効活用が望まれる。
- ・緑被率が低く、身近なみどりの環境の充実が望まれる。
- ・点在する文化資源の更なる活用が求められる。
- ・中心市街地で生まれる賑わいを、中山間地域や市域全体、圏域全体に波及させていくことが望まれる。
- ・継続的なまちづくりや中間支援の担い手となる人材・団体の育成が望まれる。
- ・健康づくりにつながる・誰もが暮らしやすい・安心して暮らし続けることができるまちづくりが求められている。

